

第3回国連防災世界会議パブリックフォーラムイベント「せんだい防災の広場」に出展しました（2015/3/15）

テーマ：減災意識啓蒙

場所：勾当台公園（仙台市青葉区）

3月15日、勾当台公園において第3回国連防災世界会議パブリックフォーラムイベントとして仙台市危機管理室の主催で開催された「せんだい防災の広場」に出展しました。会場は勾当台公園に設営され、晴天に恵まれたため、多くの一般市民が来場しました。

東北大学災害科学国際研究所からは減災「結」プロジェクトの減災意識啓蒙活動の紹介をしました。先日東北大学カタールホールで開催された「減災ハッカソン」の受賞作品も一緒に展示し、開発者から、説明をしてもらいました。保田真理助手（災害リスク研究部門）が展示を担当しました。

東日本大震災から4年が経過し、一般市民の災害に対する意識も低下しつつありますが、第3回国連防災世界会議をきっかけに、多くの市民が会場には詰めかけました。県外からの来場者も多く、被災3県を除けば災害に対する意識が低いと異口同音に意見が寄せられました。東北地域全体の減災意識啓蒙へどのような貢献ができるのか、他県の大学などとの連携や協働および、各自治体との連携も我々の活動に必要になって来ていると感じさせられました。

展示ブースを訪問してくれた人たちからは、日本の子どもたちへの意識啓蒙活動のプログラムの組み立て方や、補助ツールへの質問を多くいただきました。それぞれの地域で抱えている問題などの相談も受け、災害科学国際研究所としての取り組みが、一般の人たちにも認知されはじめ、その活動に大きな期待が寄せられている事を感じました。



ブース展示の様子（360度カメラで撮影）



ブースを訪問された奥山仙台市長と

文責：保田真理（災害リスク研究部門）